

バックミラー

お檀家の住居がだんだんと都心から郊外に移られた事もあって、近頃車で遠くまで運転する機会が多くなりました。

ある日の事、バックミラーの向きが悪く、走行に大変不安を感じたことがありました。車は前方に走行するのを主とした乗物でありながら、一見不必要とさえ思えるバックミラーがないと、（正しくセットされていないと）不安で不安で走行どころではないのです。特に進路変更やスピードダウンをする時に、それを強く感じます。

落ち着いたところであれこれ考えてみました。バックミラーの存在は車を運転するドライバーだけの問題ではなく、そのまま私の生きざまに多くの示唆と警鐘を与えてくれるものではないかと。

私達は常に前向きに物事に取り組み、確かな前進をひたすら願う事ですが、ややもすると前向きにだけ目をこらし、バックミラーの存在すら忘れがちで無謀な運転に日々を送っているのではないかと知らされたのでした。

真の喜び、安らぎを日々の生活の中に見出すためにもバックミラーをきちんとセットして活用し、安全で快適な日々でありたいと念じます。

報恩講の時期になりました。ご聖人のお流れをくむ私達は、報恩感謝というバックミラーを通して、静かに自分自身を見定めさせてもらいたいものです。